

一般社団法人日本未病システム学会未病専門指導師認定制度規則

第1章 総則

第1条 (目的)

未病専門指導師認定制度は国民の健康と福祉に貢献するために、「未病」を各医療専門分野からの確にとらえ、生活習慣病等の発症の抑制と健康長寿に関わる養生法の普及向上に寄与し、未病における診断、保健指導、治療等に対応できる幅広い専門的知識と技量を備えた優れた人材を養成することを目的とする。

第2条 (未病専門指導師の認定)

一般社団法人日本未病システム学会（以下本学会）は、この目的を達成するために、未病専門指導師を認定する。

第3条 (医療専門職能別認定委員会)

本制度の維持と運営のために教育委員会を設置し、教育委員会のもとに未病専門指導師の審議および認定のための諸制度を定め、教科書の編纂や改訂等を実施する。各医療専門職能ごとに以下の小委員会を設置する。該当する職能部門がない場合は直接教育委員会が小委員会業務を代行する。

1. 資格認定委員会
2. カリキュラム委員会

第2章 資格認定委員会

第4条 (資格認定委員会の業務)

資格認定委員会を各職能別に設けて未病専門指導師の審議および認定を行い、教育委員会に上申する。教育委員会はその結果を承認後に理事会に報告する。

第5条 (資格認定委員の選任)

本学会理事会は資格認定委員長ならびに資格認定委員を各職能ごとに10人以内を選任し、教育委員会、社員総会の承認をもって決定する。

第6条 (資格認定委員会の審議方法)

資格認定委員長は資格認定委員会を統括し、本制度の円滑な運営を図る。委員長は年1回の定時、あるいは必要に応じて臨時の資格認定委員会を招集する。ただし、委員数の3分の1以上の委員から会議の目的とする事項を示して請求があったときは、委員長はただちに臨時資格認定委員会を招集しなければならない。

第7条 (委員会の開催)

資格認定委員会は委員数の過半数が出席しなければ、その議を開き議決することはできない。

第8条 (委員会の議事)

資格認定委員会の議事は出席者の過半数をもって決し、また可否同数のときは委員長が決するものとする。本議決は教育委員会の承認後、理事会に答申される。

第9条 (会員への通告)

資格認定委員会、教育委員会および理事会によって決定された事項は、社員総会で報告され、本学会機関誌によって会員に通告する。

第10条 (委員会の議事録)

各資格認定委員会の議事については、議事録を作成し保管しなければならない。

第11条 (任期)

資格認定委員の任期は委員長を含め3年と定める。ただし再任を妨げない。

第3章 カリキュラム委員会

第12条 (カリキュラム委員会)

本制度を円滑に遂行するため、各職能部門内に設置されたカリキュラム委員会は、カリキュラム委員会の細則を定め、これを教育委員会に上申する。

カリキュラム委員会は初期のカリキュラム設定ができた段階で、その役割を再検討する。

第4章 未病専門指導師の資格認定

第13条 (申請時の要件)

未病専門指導師の認定は、申請時の要件を含め次の各項をすべて満たすことを要する。

1. 日本国の臨床検査技師、薬剤師、看護師、保健師、助産師、管理栄養士等の国家資格を有するか、資格認定委員会で同等の学術的知識と経験があると認められたもので、医療人としての人格および見識を備えていること。
2. 5年以上の職域での職域領域に関する実務あるいは学術経験を有すること。
3. 申請時において継続して3年以上本学会の正会員であること。
4. 細則に基づく本学会認定の研修カリキュラムにおいて取得した証明書類があること。
5. 暫定期間においては第7章第24条にある、業績および業績目録の提出。

第14条 (申請書の出願)

未病専門指導師の認定を希望するものは、次の各項に定める申請書類を本学会事務局に提出する。

1. 未病専門指導師申請書
2. 履歴書
3. 国家資格を証明する免許証(写し)、あるいは教育、研究、実務等の医療、医学関連施設での業務の実績を証明できる書類
4. 研修カリキュラム修了証(本学会総会、地方会または部会研修会出席の証拠となるもの)等
5. 業績目録(研究論文等添付)

第15条 (申請者の資格認定)

資格認定委員会は申請書類によって認定資格について審査を行う。

第16条 (認定証の交付)

本学会理事長は、理事会で承認された未病専門指導師の資格認定者に対して、未病専門指導師証を交付する。

第17条 (認定証の更新)

未病専門指導師の認定は5年ごとに更新しなければならない。更新時の所定の手続きに関しては細則に定める。

第18条 (認定および更新料)

認定および更新の申請時には所定の審査料、登録料を支払うものとする。

第19条 (申請期日)

未病専門指導師の申請書類の締め切り日は、毎年度の学術総会における演題締め切り日と同日とする。

第5章 未病専門指導師の資格の喪失

第20条 (認定資格の喪失)

未病専門指導師は次のいずれかに該当する場合にはその資格を失う。

1. 正当な理由を付して未病専門指導師の資格を辞退したとき。

2. 本学会を退会したとき。または学会費の滞納が著しいとき。
3. 申請書類に虚偽または不正が認められたとき。
4. 更新時期を過ぎても正当な理由がなくその手続きに応じないとき。
5. 刑罰等、社会的な制裁を受けたとき。 第21条（認定資格の取り消し）

本学会理事長は、前項に関わらず、未病専門指導師として相応しくない行為を認めたものに対して資格認定委員会および理事会の議決により認定資格を取り消すことができる。

第6章 規則の改廃

第22条 （規則の改廃）

本規則の改廃は資格認定委員会、教育委員会および理事会の議決を経て、社員総会の承認を得なければならない。

第7章 補則

第23条 （施行日）

1. 本規則は2008年11月3日より仮施行する。
2. 本規則は2009年6月23日より改正仮施行する。
3. 本規則は2009年10月31日より改正施行する。
4. 本規則は2010年11月13日より改正施行する。
5. 本規則は2011年11月19日より改正施行する。
6. 本規則は2012年10月27日より改正施行する。
7. 本規則は2013年11月9日より改正施行する。
8. 本規則は2014年11月1日より改正施行する。
9. 本規則は2015年10月11日より改正施行する。
10. 本規則は2016年11月5日より改正施行する。
11. 本規則は2017年11月4日より改正施行する。

第24条 （附則 第13条の特例措置）

本学会未病専門指導師の認定に関しその円滑な運営を図るため、2018年度まで以下の暫定過渡的措置を講ずる。本学会理事から推薦を受け、未病専門指導師の認定を希望するものは、以下の規定により本学会理事会に申請して特例審査を受けることとする。

1. 申請時点で1期以上評議員もしくは部会委員（世話人）として在籍し、かつ申請時点まで過去3年以上本学会に属し、本学会総会、地方会もしくは各部会研修会に参加して共同研究を含む2編以上の研究発表もしくは学会誌に投稿した評議員。
2. 申請時点まで過去3年以上本学会に属し、共同研究を含め3編以上本学会で研究発表もしくは学会誌に投稿した一般会員。

なお、本学会における業績がない場合はこれと同等の論文ないし学術報告を有し経験した未病活動に関する実践レポート（2,000字）を資格認定委員会に提出し、認められたもの。

同等の論文とは日本医学会総会、分科会として認められた学会、または関連の国内外の学会で発表されたもの、レフェリーつきの相当する学術雑誌に掲載されたものとする。

3. 理事・監事。
4. 本学会理事長が特別に推挙した会員。

一般社団法人日本未病システム学会未病専門指導師認定制度規則施行細則

未病専門指導師認定制度規則を円滑に遂行するため、必要な細則を定める。

第1章 未病専門指導師認定制度の事務に関する 細則

第1条 本認定制度の事務は、本学会事務局が各医療専門職能部門事務局等との緊密な連携を図って実行し、主要な業務を管轄する。

第2章 未病専門指導師の新規認定に関する細則

第2条 資格認定審査は本学会未病専門指導師認定制度規則第7章第24条に基づき暫定的な特例措置として施行する。暫定期間以後は未病医学認定教科書に基づいた暫定期間終了時に定める認定カリキュラムに基づき資格審査を行う。暫定期間に資格審査を受けるものは、本学会認定教科書

(未病医学入門、臨床2巻)を参考にして、未病医学の内容を把握しておく。

第3条 業績目録に記載された学術論文は本学会に報告されたもののほか、原則として学会誌に発表されたもの、またはレフェリー審査のある学術雑誌に発表されたものとする。学会発表は本学会で報告したものと、日本医学会総会、分科会として認められた学会、あるいは相当する関連の国内外の学会で発表されたものとする。

第4条 未病専門指導師の審査料は10,000円、認定登録料は10,000円とする。

第5条 未病専門指導師として認定されたものは、その後も連続して本学会の会員であり、会員でなくなった時点で特殊な事情がない限り、認定資格は消滅する。特殊な事情については、定年に伴う本学会名誉会員、あるいは海外留学、病気による長期療養で学会員を中断するものについてはその旨の申請書を資格認定委員会に申請し認可されたもの等とする。

第3章 未病専門指導師認定更新に関する細則

第6条 認定の更新に必要な単位数は50単位とする。別表2に従い単位数を集計する。

1. 認定更新の際に単位取得が認められる関連学会を別表1に定める。学会参加のみの場合には証明資料(例:参加費領収書等のコピー)を添付すること。
2. 別表1の関連学会の追加および削除は理事会の承認によって行うことができる。

第7条 未病専門指導師の認定更新を希望するものは次項に定める申請書類、更新審査料、認定料を添えて事務局を通じて資格認定委員会に提出する。

1. 未病専門指導師更新申請書、これに更新認定登録料振込み済みコピーを貼付する。
2. 学術活動等に関しては、5年間で合計50単位以上取得したことを証明する資料、業績目録、別刷りまたはコピーを添付する。

第8条 特殊な事情があり更新が不可能である場合は更新期間の延期を申請できる。申請延期期間は認定資格を標榜できない。

第9条 資格認定委員会は申請書類によって更新を認定する。

第10条 本学会理事長は未病専門指導師の更新を認定されたものに対しては、理事会の議を経て認定証を交付し、学会誌に公表する。

第11条 更新認定登録料は10,000円とする。

第12条 本規定の改定は資格認定委員会、教育委員会および理事会の議決を経て、社員総会での承認を必要とする。

- 第13条
1. 本細則は2008年11月3日より仮施行する。
 2. 本細則は2009年6月23日より改正仮施行する。

3. 本細則は2009年10月31日より改正施行する.
4. 本規則は2013年4月14日より改正施行する.
5. 本規則は2013年11月9日より改正施行する.
6. 本規則は2014年11月1日より改正施行する.
7. 本規則は2016年11月5日より改正施行する.

別表 1 委員会が認めた関連学会

日本臨床検査医学会，日本医学検査学会，日本総合健診医学会，日本人間ドック学会，日本公衆衛生学会，日本老年医学会，日本抗加齢医学会，日本栄養・食糧学会，日本糖尿病学会，日本動脈硬化学会，日本肥満学会，日本循環器学会，日本臨床栄養学会，日本栄養改善学会，日本臨床化学会

- 出席を証明する資料，たとえば会場費領収書等を添付すること。
- 演者とは講演者本人，ポスター発表も発表者本人，1学会1回として可能。共同演者も含まれる。
- 講演者，発表者であることを証明するプログラムコピー。

別表 2 認定更新時に必要な単位：50単位（5年間）

うち日本未病システム学会関連25単位必須（学会1. 2. 3. および論文1. 2. 3. に該当）とする。

I. 学会：	参加による 単位	筆頭演者 加算単位	共同演者 加算単位
1. 日本未病システム学会学術総会	10	5	3
2. 日本未病システム学会 各部会セミナー・地方会	8	2	1
後援，共催の講演会	5	5	1
3. 未病に関するフォーラム等の啓蒙活動の主催	5	5	-
4. 内規で定めるその他の関連学会年次集会	3	3	1

II. 論文発表：	筆頭著者の単位	共著著者の単位
1. 日本未病システム学会雑誌 原著論文	15	5
2. 日本未病システム学会雑誌 症例報告	15	5
3. 日本未病システム学会雑誌 プロシーディング	4	2
4. 未病関連学術誌掲載の総説他	2	0
5. 内規で定める関連学会誌掲載の原著論文	4	2

※当該部分の別刷りまたはコピーを添付すること。